

住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

証券コード：3501

Suminoe Report



第127期報告書

2015年6月1日▶2016年5月31日

Contents

| | |
|-------|-------------|
| 1 | ごあいさつ |
| 1~4 | 事業の概況 |
| 5~6 | 連結財務諸表 |
| 7~8 | トピックス |
| 9~10 | 納入実績 |
| 11~12 | 企業データ |
| 12 | 株式関連情報 |
| 13 | 株主メモ |
| 14 | 株式事務に関するご案内 |



ごあいさつ

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期におきましては、当社の米国子会社Suminoe Textile of America Corporation (以下STA) に端を発した会計処理問題により、決算発表が大幅に遅れ、株主のみなさまをはじめとする関係者のみなさまに、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

このたび当社第127期(2015年6月1日から2016年5月31日まで)の決算を終えましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

2016年12月

取締役会長兼社長 吉川一三



事業の概況

■ 業績のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半は、企業業績と雇用環境が堅調となり、インバウンド需要の拡大等から内需を中心に緩やかな回復が続きました。しかしながら、2016年の年初からは、株安と円高が急激に進行し、外需関連企業を中心に業績への悪化懸念が高まり、先行きの不透明感が強まりました。

海外では、米国は雇用環境と消費動向が堅調に推移したものの、企業の設備投資への慎重な姿勢から緩やかな景気回復に留まり、また、中国の成長鈍化が資源価格の下落を引き起こし、資源産出国ならびに新興国経済に大きな影響をもたらしました。

このたびの会計処理問題につきましては、2016年10月28日付「第三者委員会調査報告書の全文開示に関するお知らせ」および同年11月4日付「社内調査委員会の調査報告および再発防止策の骨子等についてのお知らせ」を当社ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

当社グループは、新中期3ヵ年経営計画“Advance Ahead 2018”の基本方針のもと、初年度の目標達成に向け諸施策を展開しました。売上は、米国Bondtex社およびインドネシアPT.Sinar Suminoe Indonesiaの連結子会社化や、インテリア事業が堅調に推移したこと等か

■ 事業セグメントの概況

● インテリア事業

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件の増加に伴い、売上は前期を上回りました。水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」は、国内販売、海外輸出ともに堅調に推移し、売上を伸ばしました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、個人消費に伸び悩みが見えることや、冬の気候が温暖だった影響もあり、売上は前期を下回りました。カーテンは、メインブランドの「mode S®(モードエス) Vol.7」と「U Life®(ユーライフ) Vol.8」が好調を維持し、「ディズニーシリーズ」や新ブランド「cölne(コルネ)」も堅調となったため、売上は前期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム」、量産タイプの「ルノン・マークII」がともに順調に推移し、売上は前期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高364億7千1百万円(前期比3.8%増)、営業利益9億8千2百万円(同50.9%増)となりました。

ら、前期に比べ増収となりました。しかしながら営業利益では、STAで急激な受注増による生産ラインの混乱から追加費用が大きく発生し、国内では熊本地震や燃費問題による一部自動車メーカーの生産停止や、太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業の受注先の減産等が響き、減益となりました。また、松原事業所の解体工事費用や、太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業の設備の減損費用を特別損失に計上したことに加え、STAで繰延税金資産の取り崩しが発生したこと等から、親会社株主に帰属する当期純利益は前期を大きく下回りました。

以上の状況から当期の連結業績は、売上高975億2千9百万円(前期比7.0%増)、営業利益25億5千3百万円(同17.7%減)、経常利益28億8千3百万円(同22.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億4千5百万円(同86.5%減)となりました。

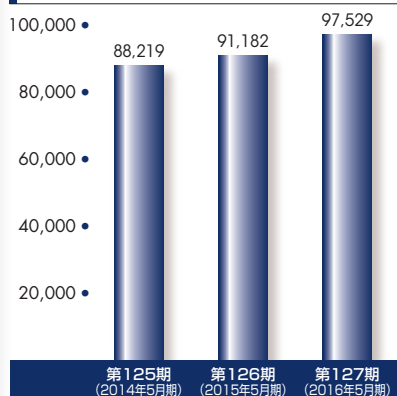
業績の推移(連結)

■ 過年度決算訂正について

本報告書に記載の業績情報はすべて過年度決算訂正が反映されております。

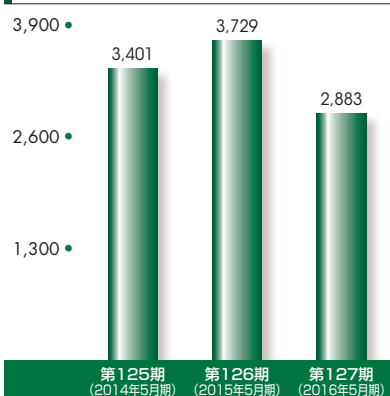
売上高

(単位: 百万円)



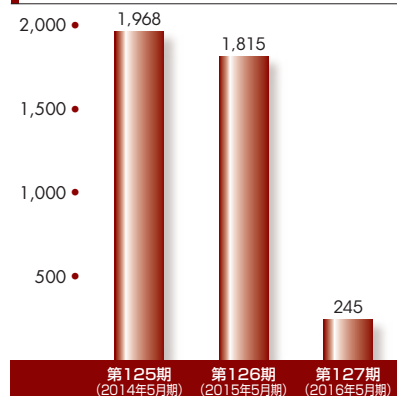
経常利益

(単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円)



● 自動車・車両内装事業

自動車関連では、国内は2015年末まで新規受注車種が堅調に推移しましたが、2016年1月以降は、熊本地震等で一部の自動車メーカーの生産停止と、燃費問題による影響を受けました。海外では、メキシコ、インドの各拠点が前期比で売上を伸ばし、米国とインドネシアでの連結子会社化も売上増加に寄与しました。営業利益は、国内では、売上と同様に一部の自動車メーカーでの生産、販売の停止の影響を受けました。海外では、タイとインドネシアでの新規受注車種が堅調に推移したものの、STAで受注増への対応不足で品質問題と緊急輸送費が増加し、また、第4四半期に発覚したたな卸在庫を主とする不適切会計の処理費用が発生する等したため、前期を大きく下回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件はなかったものの、新車製造の継続案件とリニューアル改造工事が好調に推移し、加えて、シートの定期張替えも復調傾向となったため、売上を大きく伸ばしました。バス向けは、新車発注が引き続き好調に推移しており、また、オプション仕様による高付加価値商材の需要も拡大し、売上、営業利益ともに伸長しました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前期を大きく上回りました。

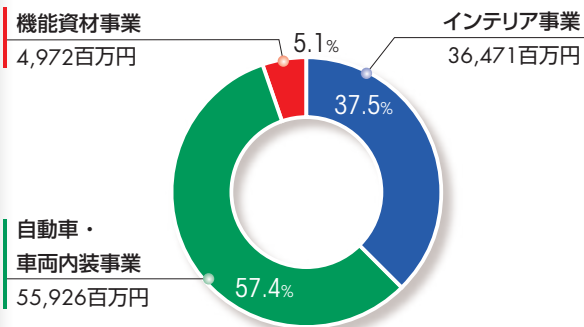
以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高559億2千6百万円（前期比10.9%増）、営業利益24億7千1百万円（同24.3%減）となりました。

● 機能資材事業

機能性資材関連では、前期より本格生産となった浴室向け床材や、建築関連資材が好調に推移し、売上、営業利益ともに前期を上回りました。ホットカーペットは、メーカー各社が慎重な品揃えとなったため、受注台数を落とし、売上、営業利益ともに前期を下回りました。消臭・フィルター関連は、海外向けフィルターが振るわず、売上、営業利益ともに前期を下回りました。太陽光電池向け事業は、受注先の減産を受け、売上、営業利益ともに前期を大幅に下回りました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高49億7千2百万円（前期比9.1%減）、営業利益1億3千5百万円（同54.6%減）となりました。

事業セグメント売上高



■ 配当について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら適正な成果の配分を実施いたします。この基本方針のもと、当期は中間・期末ともに1株当たり3円50銭、年間7円の配当金とさせていただきます。

また、次期の配当金につきましては、中間・期末ともに1株当たり3円50銭、合わせて年間7円とさせていただきます。

■ 2017年5月期の見通しについて

新中期3ヵ年経営計画“Advance Ahead 2018”策定時の想定為替レートを上回るスピードで新興国通貨安が進行していることから、為替換算差による海外売上と利益の減少が見込まれます。また、2016年5月期に発生したSTAでの生産トラブルは回復基調にあるものの、2017年5月期にも影響が残ることが予想されます。

以上の状況を鑑み、2017年5月期の計画は、売上高954億円、営業利益15億4千万円、経常利益17億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益7億4千万円としております。

■ 対処すべき課題

● 再発防止策の策定

当社は、第三者委員会による再発防止策の提言を真摯に受け止め、同提言を踏まえた社内調査委員会による検討を経て、次のとおりの基本方針を決定し、同基本方針に基づく再発防止策の骨子を策定しております。

- ① 企業風土改革
- ② 全社的な意識向上教育の実施
- ③ 業績管理体制と子会社管理の見直し
- ④ STAのマネジメント体制の見直し
- ⑤ STAの在庫管理システムの見直し
- ⑥ 内部統制の再構築

このたびの会計処理問題により、株主のみなさまに、多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。当社は、上記基本方針および既に策定している骨子に基づいて、可能な限り速やかに再発防止策を確定し、着実に実施してまいりますので、何卒、格別のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 (2016年5月31日現在) | 前 期 (2015年5月31日現在) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 49,809 | 51,202 |
| 現金及び預金 | 7,930 | 9,663 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,768 | 23,618 |
| 有価証券 | 295 | 275 |
| たな卸資産 | 15,443 | 14,189 |
| その他 | 3,413 | 3,474 |
| 貸倒引当金 | △42 | △17 |
| 固定資産 | 37,068 | 38,923 |
| 有形固定資産 | 26,286 | 27,043 |
| 建物及び構築物 | 3,644 | 3,455 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,986 | 3,694 |
| 土地 | 17,277 | 17,254 |
| その他 | 1,378 | 2,638 |
| 無形固定資産 | 1,179 | 494 |
| 投資その他の資産 | 9,602 | 11,384 |
| 投資有価証券 | 8,228 | 9,617 |
| その他 | 1,521 | 1,914 |
| 貸倒引当金 | △147 | △147 |
| 資産合計 | 86,878 | 90,126 |

| 科 目 | 当 期 (2016年5月31日現在) | 前 期 (2015年5月31日現在) |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 35,961 | 36,791 |
| 支払手形及び買掛金 | 18,209 | 19,744 |
| 短期借入金 | 13,128 | 11,456 |
| その他 | 4,622 | 5,590 |
| 固定負債 | 13,738 | 14,130 |
| 長期借入金 | 3,830 | 3,678 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 3,761 | 3,970 |
| 退職給付に係る負債 | 3,904 | 3,856 |
| その他 | 2,242 | 2,626 |
| 負債合計 | 49,700 | 50,921 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 22,614 | 22,860 |
| 資本金 | 9,554 | 9,554 |
| 資本剰余金 | 2,652 | 2,652 |
| 利益剰余金 | 10,768 | 11,013 |
| 自己株式 | △360 | △359 |
| その他の包括利益累計額 | 10,701 | 12,308 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,450 | 3,771 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | △2 |
| 土地再評価差額金 | 7,797 | 7,588 |
| 為替換算調整勘定 | 645 | 1,157 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △196 | △205 |
| 非支配株主持分 | 3,861 | 4,035 |
| 純資産合計 | 37,178 | 39,204 |
| 負債・純資産合計 | 86,878 | 90,126 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 資産の部

資産の部につきましては、前期末に比べ32億4千7百万円減少し、868億7千8百万円となりました。

流動資産は主に現金及び預金が減少したことにより、同13億9千2百万円の減少となりました。

固定資産は主に投資有価証券が時価評価によって減少したことにより、同18億5千4百万円の減少となりました。

■ 負債の部・純資産の部

負債の部につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前期末に比べ12億2千1百万円減少し、497億円となりました。

純資産の部につきましては、主に投資有価証券の時価評価によってその他有価証券評価差額金が減少したことにより、前期末に比べ20億2千6百万円減少し、371億7千8百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2015年6月1日から 2016年5月31日まで) | (2014年6月1日から 2015年5月31日まで) |
| 売上高 | 97,529 | 91,182 |
| 売上原価 | 78,651 | 72,481 |
| 売上総利益 | 18,878 | 18,701 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,324 | 15,599 |
| 営業利益 | 2,553 | 3,101 |
| 営業外収益 | 842 | 1,021 |
| 受取利息及び配当金 | 184 | 163 |
| 持分法による投資利益 | 194 | 216 |
| 不動産賃貸料 | 238 | 234 |
| その他 | 224 | 406 |
| 営業外費用 | 513 | 392 |
| 支払利息 | 241 | 229 |
| 不動産賃貸費用 | 35 | 39 |
| その他 | 235 | 123 |
| 経常利益 | 2,883 | 3,729 |
| 特別利益 | 6 | 31 |
| 特別損失 | 490 | 302 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,398 | 3,459 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,285 | 1,092 |
| 法人税等調整額 | 602 | 256 |
| 当期純利益 | 510 | 2,109 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 264 | 293 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 245 | 1,815 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結損益計算書

売上高につきましては、機能資材事業において減収となったものの、インテリア事業および自動車・車両内装事業において増収となり、前期比63億4千7百万円増加の975億2千9百万円となりました。

営業利益は同5億4千7百万円減少し25億5千3百万円、経常利益は同8億4千6百万円減少し28億8千3百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主に特別損失に減損損失3億7千1百万円を計上したことにより、同15億7千万円減少し2億4千5百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2015年6月1日から 2016年5月31日まで) | (2014年6月1日から 2015年5月31日まで) |
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,453 | 3,701 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,211 | △1,231 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | 119 | △2,756 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △94 | 193 |
| V. 現金及び現金同等物の増減額 | △1,732 | △92 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,543 | 9,564 |
| VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 71 |
| VIII. 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,810 | 9,543 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益23億9千8百万円、減価償却費18億9千3百万円、売上債権の減少額10億1千1百万円等に対し、たな卸資産の増加額10億2千万円、仕入債務の減少額17億9千2百万円、法人税等の支払額10億6千4百万円等により、14億5千3百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億4千2百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出20億4千9百万円等により、32億1千1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入33億1千2百万円等に対し、長期借入金の返済による支出20億8千4百万円、リース債務の返済による支出9億4百万円等により、1億1千9百万円の収入となりました。

トヨタ「プリウス」に当社内装材が採用

当社の繊維製品が、トヨタ「プリウス」のシートファブリックに採用されました。

中級グレードのシートファブリックは、エンボス加工と起毛加工による立体感と、見る角度によって印象が変わる工夫も施され、デザイン性の高い車内空間を演出しています。



大阪市交通局 ニュートラム新型車両「200系」に当社内装材が採用

大阪市交通局の南港ポートタウン線（ニュートラム）において、25年ぶりの新型車両である「200系」が投入されました。車両前面のデザインは、南港ポートタウンの公園で元気に走り回る子どもをイメージし、車内も明るい雰囲気となっています。座席シートには当社のポリエステルジャカードモケットが採用されており、見ても、乗っても「楽しい」車両で地域を華やかに彩ります。



■ 長方形タイルカーペット「SCENERY SOUND（シーナリーサウンド）」を発売

2016年6月20日発売の「SCENERY SOUND」はデザイン貼りによるバリエーションが表情豊かな長方形タイルカーペットシリーズです。オフィスはもちろん、ホテル・店舗まで幅広く提案できる商品となっており、5柄48色の展開で、全品に裏材の「ECOS(エコス)」を使用しております。また2商品にはリサイクルナイロン「ECONYL®(エコニール)」を一部使用し、環境にも配慮した長方形リサイクルタイルカーペットシリーズです。



■ 布帛(ふはく)型太陽電池が「ワールドビジネスサテライト」で紹介されました

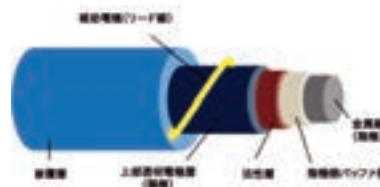
産学官連携で開発した布帛型太陽電池が、IoT時代の新しい技術として、2016年11月15日放送の経済ニュース「ワールドビジネスサテライト」で紹介されました。

太陽光発電繊維を用いた布帛は、室内環境や生体情報の計測に用いるセンサの自立電源として活用が見込め、介護や見守りといった分野での応用が可能です。

発表以来、日経産業新聞や日経ビジネス等、多くの媒体に注目の技術として紹介されています。

当社が合わせて開発した、生体情報センサ用布帛型電極とともに、IoTに活用できる技術として、各種媒体を通じたオープンイノベーションを活用しながら、商品化を進めております。

※IoT: Internet of Things (モノのインターネット) … IT関連機器以外のあらゆる「モノ」がインターネットに接続することで、相互に情報交換、制御することが期待されています。



太陽光発電繊維（組織構成）



布帛型電極（拡大図）

納入実績

スズキ エルティガ(インドネシア仕様)
内装材(繊維製品)



ロームシアター京都サウスホール
アート絨帳



近鉄 汎用特急リニューアル
ジャカードモケット・トリプルフレッシュ加工カーテン



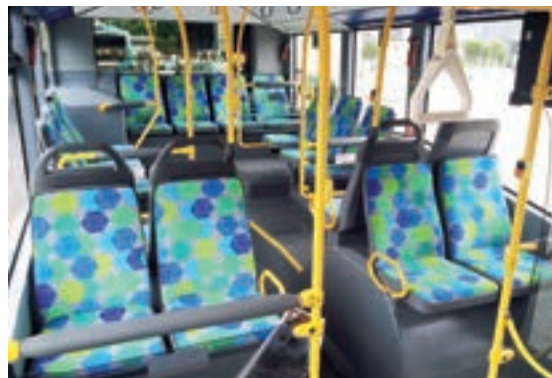
マツダ ロードスター
内装材・外装材(繊維製品)



国指定重要文化財「豊平館」
別注アキスカーペット・カーテン



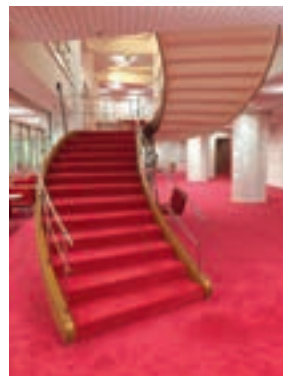
京成バス「新都心・幕張線 連節バス」
インクジェットプリントモケット



ホンダ FIT (US仕様)
内装材 (繊維製品)



日生劇場
別注カーペット (ウィルトン・ハンドタフト)



企業データ

■ 会社の概要 (2016年5月31日現在)

本 社

大阪市中央区南船場3-11-20

大 阪 支 店

大阪市中央区南船場3-11-20

東 京 支 店

東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル

奈良事業所

奈良県生駒郡安堵町大字窪田634-1

大阪事業所

大阪府松原市大堀1-5-8

滋賀事業所

滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5

京都美術工芸所

京都市上京区新町通今出川上る元新在家町167-2

合資会社創立 1913年12月25日

株式会社設立 1930年12月26日

資 本 金 9,554,173,950円

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

従 業 員 数 239名 (連結 2,786名)

■ 主要な事業内容

<インテリア事業>…カーペット、カーテン、壁紙、
各種床材 等

<自動車・車両内装事業>…自動車・バス・鉄道車両・航空機等の
内装材

<機能資材事業>…ホットカーペット、消臭関連資材、
太陽光電池向けシリコンウエハ 等

本社ビル耐震工事中のため、下記仮事務所に移転しております。

大阪市中央区本町4-2-5 本町セントラルビル
※詳しくは当社ホームページをご覧ください。

■ 主要なグループ企業 (2016年5月31日現在)

○ 国 内

株式会社スミノエ

インテリア製品の企画・販売

ルノン株式会社

壁紙を中心としたインテリア製品の
企画・販売

住江物流株式会社

インテリア製品の保管・加工

スミノエ テイジン テクノ
株式会社

自動車用内装材の製造・販売

住江テクノ株式会社

カーペットの製造・加工
スミトロン糸の製造、不織布の加工

○ 海 外

Suminoe Textile of
America Corporation

米国
自動車用内装材の製造・販売

Bondtex, Inc.

米国
自動車用内装材の製造・販売

Suminoe Textile de Mexico,
S.A. de C.V.

メキシコ
自動車用内装材の製造・販売

住江互太(広州)汽車
繊維製品有限公司

中国
自動車用内装材の製造・販売

蘇州住江小出汽車用品
有限公司

中国
自動車用内装用品の開発・製造

住江織物商貿(上海)
有限公司

中国
自動車・車両用内装材および部品の企
画開発・製造管理・卸売業・輸出業務

蘇州住江織物有限公司

中国
ホットカーペットの製造

T.C.H.Suminoe Co., Ltd.

タイ
自動車用内装材の製造・販売

PT.Suminoe Surya
Techno

インドネシア
自動車用内装用品の製造・販売

PT.Sinar Suminoe
Indonesia

インドネシア
自動車用内装材の開発・販売

Suminoe Teijin Techno
Krishna India Private Limited

インド
自動車用内装材の製造・販売

株式関連情報

役員 (2016年12月20日現在)

取締役および監査役

| | | | |
|---------|--------|-----|----|
| 〔代表取締役〕 | 会長兼社長 | 吉川 | 一三 |
| 〔代表取締役〕 | ○専務取締役 | 谷原 | 義明 |
| 〔代表取締役〕 | ○専務取締役 | 飯田 | 均 |
| | ○取締役 | 三村 | 善英 |
| | ○取締役 | 小瀧 | 邦彦 |
| | ○取締役 | 沢井 | 克之 |
| | 社外取締役 | 増山 | 裕生 |
| | 社外取締役 | 清水 | 春誠 |
| | 常勤監査役 | 巽世 | 一秀 |
| | 社外監査役 | 山下一 | 恭直 |

執行役員

| | | |
|------|----|----|
| 執行役員 | 永田 | 鉄平 |
| 執行役員 | 渡辺 | 糾朗 |
| 執行役員 | 丸山 | 敏光 |
| 執行役員 | 松山 | 裕伸 |
| 執行役員 | 岩崎 | 二郎 |
| 執行役員 | 木村 | 栄啓 |
| 執行役員 | 新實 | 悦孝 |
| 執行役員 | 松山 | 淳一 |

○の取締役は上席執行役員を兼務いたします。

株式の状況 (2016年10月15日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 300,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 76,821,626株 |
| 株主数 | 5,461名 |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------------------------------|---------|---------|
| 株式会社高島屋 | 9,249 | 12.26 |
| 日本生命保険相互会社 | 5,018 | 6.65 |
| 丸紅株式会社 | 3,665 | 4.86 |
| 株式会社みずほ銀行 | 2,345 | 3.11 |
| 野村信託銀行株式会社 (信託口2052197) | 2,300 | 3.05 |
| トヨタ自動車株式会社 | 2,240 | 2.97 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口) | 1,788 | 2.37 |
| 住江織物共栄会 | 1,758 | 2.33 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,742 | 2.31 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,610 | 2.13 |

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は自己株式(1,379,722株)を控除して計算しております。

▽本報告書、株式に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 本社総務部

TEL:06-6251-6801 FAX:06-6251-0862

株主メモ

| | |
|---------|-----------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年6月1日から翌年5月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年8月 |
| 基準日 | |
| 定時株主総会 | 毎年5月31日 |
| 期末配当金 | 毎年5月31日 |
| 中間配当金 | 毎年11月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 |
| 電話お問い合わせ先 | | 0120-288-324（フリーダイヤル） |
| お取扱店 | お取引の証券会社になります。 | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） |
| 未払配当金のお支払 | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 （みずほ証券株式会社では取次のみとなります） | |
| ご注意 | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

公告方法 電子公告
 （当社ホームページ <http://suminoe.jp/ir/> に掲載）
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

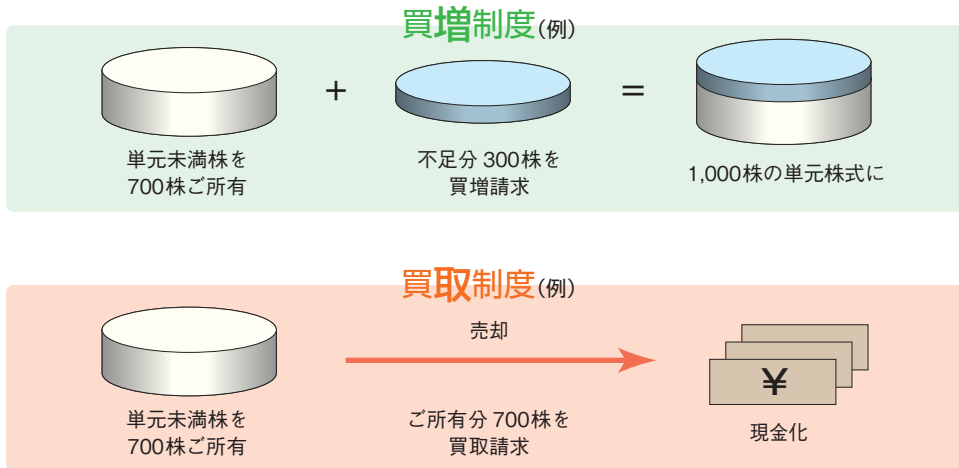
単元株式数 1,000株

株式事務に関するご案内

1. 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社では、単元株式（1,000株）に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」のほか、単元株式（1,000株）に不足する株式を買い増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

お手続きにつきましては、左記のお問い合わせ先フリーダイヤルにお申し出ください。



2. 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。

証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。



※インキは環境負荷の小さな植物油インキを使用しています。